

第1回いじめ根絶集会の様子

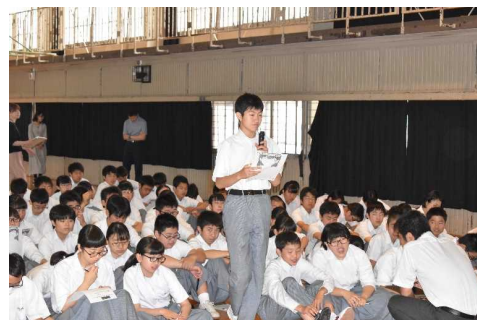
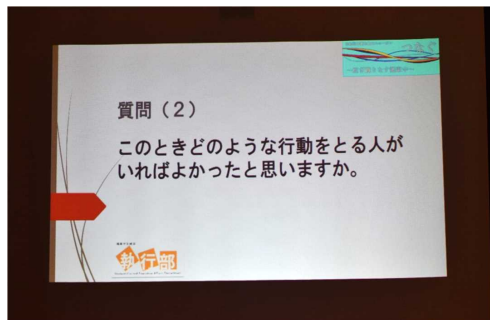
6月5日（水）朝会の時間に体育館にて、生徒会主催の今年度第1回目となる「いじめ根絶集会」が開催されました。本校の「いじめ根絶集会」は年間2回（6月と10月）開催され、生徒会執行部が企画、準備、運営にあたり、全校生徒がいじめ問題に関心を持てるような内容を考え、年々充実した集会となっています。

今回は『SNSからはじまるいじめ』をテーマにしました。



生徒会執行部が台本、出演、撮影を行い、生活安全委員会の生徒がエキストラ出演しました。また、編集作業には放送部の協力を得ながら、5分程度の映画を作成しました。

その映像を見ながら、どうしたら『いじめ』が起こらないかを全校生徒が考えました。



～生徒会執行部からのメッセージ（全文）～

「今回のテーマはSNSから始まるいじめです。

皆さんもよく使うSNSでの悪口やグチから、このVTRのようないじめにつながってしまうことを分かっていたかだと思います。

しかし、SNS以外にも日常生活に『いじめの芽』があります。今日、皆さんが指摘してくださった問題点、つまり、『いじめの芽』が、皆さんの周りにも起きてしまうかもしれません。また、それをSNSなどから『いじめ』に発展させないように注意していく必要があります。そのために、日頃からSNSでのメッセージや言葉づかいを身に付けていきましょう。



校長先生からのお話（要約）

みんなの発言を聞いていると、誰もが「いじめは良くない」と言っている。

しかし、先日行った「イヤな思い」の調査の結果を見ると、「こういうことがイヤだった。」との思いをしている人がいる。しかし、同じ調査で、「イヤな思いをさせてしまった」と自覚している人はいなかった。

このことは、いじめについても同様といえる。（「いじめ」の定義を読み上げ、）いじめは、やっている人がいじめだと思わなくても、相手が苦痛を感じていたらいじめと判断されます。目に見えるもの（暴力や仲間はずれ、ネットトラブル等）だけでなく、目に見えないもの（無視や避ける等）もいじめになる。「イヤな思い」がいじめになることもある。自分に自覚がないことは困る。しっかり自覚をもって欲しい。

人間は、他の動物にはない『相手の心を読み取る能力』に優れている。だからこそ人間は、この世の中をつくらせてきた。「相手の気持ちを読み取る。相手のイヤだと思うことをしない」これらのことをしっかり実践し、いじめをなくすとともに、一致団結、「チーム陽東」として、誰もが中学時代楽しかったと思える学校にしていきたいと思います。

集会後には、各教室に戻り、いじめを防ぐために、生徒一人一人が「自分は何ができるか」を考え、学校全体でいじめをなくすことを目指して、『行動宣言』を用紙に書き込み、全校生徒が廊下に掲示しました。右の記入用紙は、美術部の生徒に作成して頂きました。

